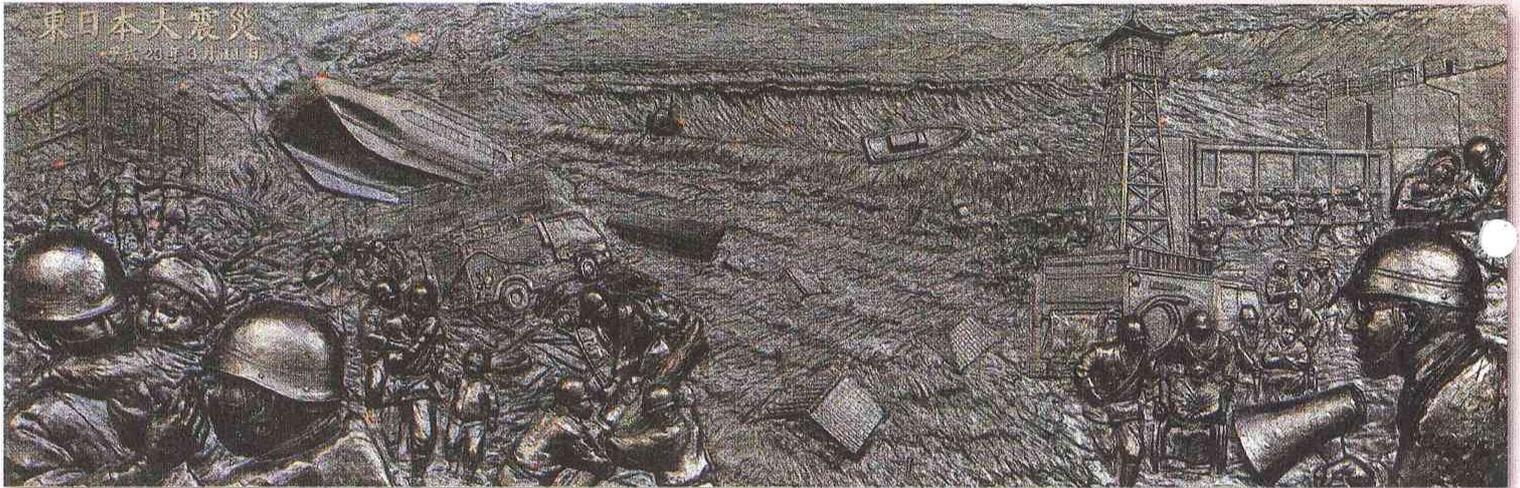




主な記事内容

- 東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭P1
- 団長年頭あいさつP2
- 消防団協力事業所表示証を交付、表彰P3
- 平成24年大船渡市消防出初式P4・5
- 東日本大震災消防団活動P6・7
- 叙勲受章者、義援金等の紹介P8

東日本大震災記念碑



東日本大震災において殉職された方々の御霊をお慰めするとともに、消防団員、消防職員の皆さまの活動が、一般の方々の記憶から消えることがないように思いを込めて、日本消防会館の壁面に設置されました。

平成23年11月29日、東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭に先立ち除幕式が行われました。

東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、厳粛に開催

平成23年11月29日（火）東京都港区虎ノ門、ニッショーホールにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り「東日本大震災消防殉職等全国慰霊祭」を執り行われ、東日本大震災による消防殉職者226柱に他の災害による殉職者を加えた236柱の御霊が合祀されました。

慰霊祭は、ご遺族、消防関係者など約700人が参列するなか、野田内閣総理大臣、両院議長、総務大臣、ご遺族代表から「追悼のことば」をいただくなど、厳粛かつ盛大に行われました。



消したはず 決めつけないで もら一度

2011年度全国統一防火標語



団長年頭あいさつ

大船渡市消防団 団長 今野 武義



平成24年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまに謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日ごろから消防団活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年(平成23年)の3月11日に発生した東日本大震災では、巨大津波が押し寄せ、多くの尊い命と財産が失われました。

我々消防団は、自ら被災しながらも、消防精神と郷土愛護に基づき、多くの住民の命を守るため身を挺して、水門閉鎖や避難誘導、そして救助活動などに全力を持ってあたったところであり、これほど消防団員としての崇高な使命を感じたことはありませんでした。その後も、自衛隊や警察など他の組織と連携した捜索活動を展開しながら、特別夜警で避難所や被災地の安全確保に努めるなど、長期間にわたる活動をしてまいりましたが、残念ながら、この活動中に津波に巻き込まれ、3人の若き団員の殉職者を出してしまいました。このことは、団長として痛惜の念に耐えないところであり、このつらい経験と厳しい教訓を検証し、防災体制の再構築を進め、さらに精進することを決意するところであります。

また、各地域の自主防災組織、消防後援会、婦人消防協力隊をはじめ、全国からボランティアとして駆け付け活動していただいた方々には、物心ともにご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、このような中、去る消防出初式において、消防団協力事業所表示証の交付を受けられました中村建設株式会社様と岩手工業株式会社様には、これまでのご貢献に心から敬意と感謝を申し上げますとともに、引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

大震災後の団員数は、全国的に著しく減少しておりますが、当消防団においては、震災前より団員がわずかながら増加傾向にある数少ない消防団となっております。これは何よりも、「我が郷土大船渡は自分たちで守る」という義勇と愛郷の精神が、この厳しい状況の中において若い世代に定着してきたことに他ならず、明るい希望を感じるとともに、今後も団員の確保に全力で取り組んでまいります。

結びに、大船渡市の一日も早い復旧・復興を願うとともに、大船渡市民のご健勝と本年が災害のないよりよい年であることをご祈念し、ごあいさつといたします。

ニューフェイス紹介



所属 第1分団第4部
氏名 佐々木 翔
年齢 26歳
特技 ソフトテニス
趣味 パソコン、車
好きな女性のタイプ 平井理央

休日の過ごし方 洗車しています。

消防団に対する希望

優しい先輩に囲まれています、いい後輩がほしいので、団員募集の活動を強化してほしいです。

先輩からの一言

入団直後に東日本大震災があり、一緒に消防団活動をしていて頼もしく思いました。これからも一緒に頑張ろう!



所属 第2分団第2部
氏名 山崎 裕次
年齢 19歳
特技 そろばん
趣味 野球
好きな女性のタイプ アルパカに似ている人

休日の過ごし方

in 盛岡

消防団に対する希望

何十年とお世話になります!

先輩からの一言

楽しく地域の人達と仲良くしながら、無火災を目指してがんばり、復興に向けて消防団の皆さんと協力して、いい町づくりをしましょう。



所属 第3分団第1部
氏名 黄川田 光一
年齢 19歳
特技 野球、サッカー
趣味 サッカー
好きな女性のタイプ 優しく、髪の毛の長い女性

休日の過ごし方 体を動かすこと

消防団に対する希望

1日でも早く復興するために消防団活動を覚えたいと思いますので、ご指導よろしくお願い致します。

先輩からの一言

今年度入団期待の星の一人、また、親子団員ということで頼もしい限りです。スポーツで養った精神で、3分団、いや消防団を安全第一で盛り上げて下さい。

消防団協力事業所 表示証を交付



平成24年1月8日、大船渡市消防出初式に先立ち、大船渡市消防団協力事業所表示証交付式が行われました。

交付式では、約1,000人の消防関係者が見守る厳粛な雰囲気の中、中村建設株式会社（佐藤道夫 代表取締役）、岩手工業株式会社（熊谷孝嘉 代表取締役社長）の2事業所に、戸田市長より表示証と交付書が交付されました。

これらの事業所は、勤務中における消防団活動への配慮や、社会貢献などが評価され市が認定したものです。

大船渡市では、平成19年3月に制度を導入して以来随時交付しており、これで18事業所への交付となりました。



上から中村建設株式会社様、岩手工業株式会社様

大船渡市長表彰

平成24年1月8日、大船渡市消防出初式において大船渡市長表彰および大船渡市消防団長表彰が行われました。表彰者および表彰分団を紹介します。

一般功労表彰

元第1分団長 鈴木 修 様

東日本大震災において、自らの危険を顧みず積極果敢に災害活動に従事した功労表彰。

消防団員功労表彰

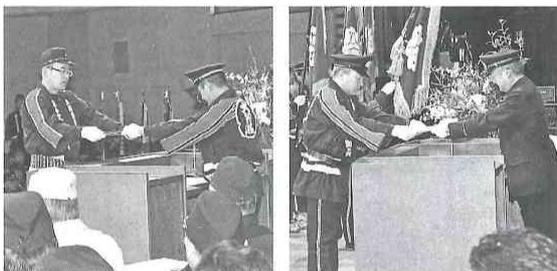
- 第1分団 鈴木康司 熊谷 敦 佐々木清人
伊藤晴喜 佐藤裕貴 鈴木秀樹
- 高木隆幸 甘竹勝善 水野正宣
- 第4分団 武田国康 大和田浩哉 細川 功
紀室 修

団体功労表彰

大船渡市消防団全分団

無火災分団表彰

- 3 期間無火災達成分団 第10分団
- 2 期間無火災達成分団 第5分団 第6分団
第7分団 第8分団
第9分団 第12分団
- 1 期間無火災達成分団 第2分団 第11分団



表彰式の様子

大船渡市消防団長表彰

一般功労表彰

三陸町越喜来

柳本周作 様 刈谷東吾 様

三陸町越喜来浪板地内で、火が山林に移りかけている現場での確かな初期消火により、火災を未然に防いだ功労表彰。

特別内助功労表彰

- 団本部 部長 千葉耕成 夫人
故 千葉常子 様
- 第11分団 団員 村上善哲 夫人
故 村上妙子 様

東日本大震災で亡くなられた団員の奥様に対し、夫君を長年にわたり献身的に支え、陰の力となり消防事業の発展と消防団活動への内助の協力に対する功労表彰。

ラップ隊員功績表彰（5年以上在籍者）

- 武田知之 磯谷皇紀 舟野哲仁
- 佐々木康晴 村上暢啓



総務大臣表彰受賞

大船渡市消防団は、東日本大震災に際し、切迫した状況の中、危険を顧みず積極果敢に災害活動に従事し、被災地域住民の被害軽減に努めた功績が認められ、平成23年11月9日に総務大臣表彰を受賞しました。

平成24年大船渡市消防出初式

平成24年大船渡市消防出初式は、平成24年1月8日、リアスホールを会場に開催されました。今年の出初式は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響により式典のみの開催となり、開式前に、消防団活動中に殉職された3人の消防団員と犠牲になられた多くの方々に黙祷を捧げ、鎮魂ラップが吹奏されました。東日本大震災により犠牲になられました皆様には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

その後、式典に先立ち消防団協力事業所表示証の交付が行われ、戸田市長から中村建設株式会社様と岩手工業株式会社様に表示証が手渡されました。

式典の冒頭では、戸田市長より震災後からの活動に対するねぎらいのあいさつをいただき、その後、消防団長が「今後とも全力で防災の任に当たっていきましょう」と団員を激励しました。

表彰式では始めに東日本大震災における活動表彰が行われ、人命救助活動表彰では前第1分団長の鈴木修様、他13人の現団員が受賞されました。また、長期間にわたり昼夜を問わず災害対応活動に従事したすべての分団に功労表彰、震災で犠牲になられた2人の消防団員の妻、故千葉常子様、故村上妙子様に対し、消防団長感謝状特別内助功労が授与されました。

定例表彰では、無火災分団表彰、ラップ隊員の表彰が行われたほか、三陸町越喜来浪板地内で、火災を未然に防いだ柳本周作様と刈谷東吾様に一般功労表彰が授与されました。

最後に、参加者全員で「火の用心」を三唱し、早期の復興を誓い、防災の先頭に立つ決意を新たにしました。



整列する消防団員



大船渡市長に敬礼

ニューフェイス紹介



所属 第4分団第2部
氏名 滝田 光
年齢 23歳
特技 野球
趣味 読書
好きな女性のタイプ
やさしい人

休日の過ごし方

友達と遊んでいます

消防団に対する希望

気合いを入れて活動したいです。

先輩からの一言

お父さんに負けない消防団員になれ!



所属 第5分団第2部
氏名 東 和彦
年齢 20歳
特技 ドラム
趣味 ドライブ
好きな女性のタイプ
明るい子

休日の過ごし方

ドライブ、ショッピング

消防団に対する希望

ご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしく願っています。

先輩からの一言

昨年は大変な年でしたが、地域の復興に協力して行きましょう。



所属 第6分団第1部
氏名 小松 克哉
年齢 26歳
特技 細かい作業
趣味 車・バイク
好きな女性のタイプ
普通の人

休日の過ごし方

ドライブ、洗車

消防団に対する希望

楽しく明るくまじめに!!

先輩からの一言

消防団としての楽しさ、厳しさなど、これからありますが、共に活動する仲間がいます。

君ならできる!! がんばれ!!



副市長火の用心三唱



総理大臣表彰披露



火の用心三唱



署長・団長人員報告



消防長に敬礼



団長年頭訓示



全分団に団体功労表彰

ニューフェイス紹介



所属 第7分団第1部
氏名 佐々木 正憲
年齢 23歳
特技 テニスなど
趣味 映画鑑賞など
好きな女性のタイプ
清潔で教養のある方

休日の過ごし方

ドライブして買い物など

消防団に対しての希望

体に気をつけて、積極的に消防団活動していきたいです。

先輩からの一言

体に気をつけて、積極的に消防団活動して下さい。



所属 第7分団第3部
氏名 澁上 透
年齢 19歳
特技 スポーツ
趣味 なし
好きな女性のタイプ
やさしい人

休日の過ごし方

遊ぶ

消防団に対しての希望

頑張っていきます。

先輩からの一言

現行団員の中でも1、2を争う出席率、我々も見習う点があると思います。



所属 第9分団第1部
氏名 新沼 巖
年齢 39歳
特技 トランポリン
趣味 スキー
好きな女性のタイプ
よく食べよく笑う人

休日の過ごし方

苦しい顔をしてジョギング

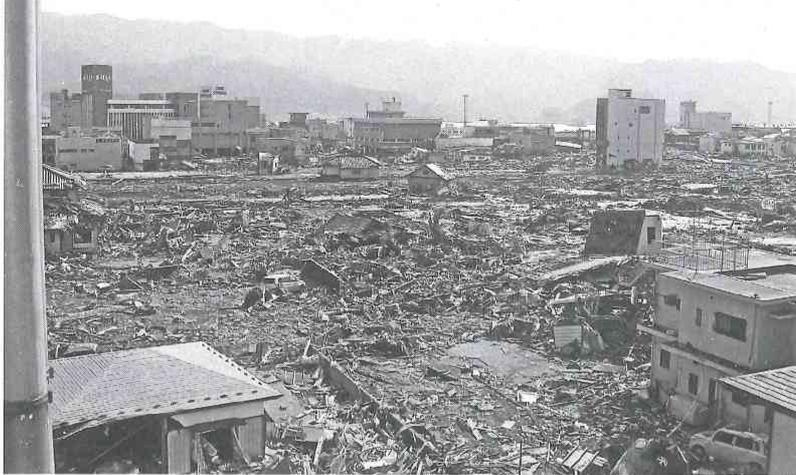
消防団に対しての希望

団活動を通じて地域貢献について考えていきたいと思っています。

先輩からの一言

常日頃から体を鍛え20代の体力を維持している彼。消防団以外でも地域リーダーとしての活躍を期待しています。

東日本大震災消防団活動



津波によって被害を受けた大船渡町

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、当市に死者、行方不明者400人を超える人的被害や、住宅の全壊・半壊約3,500戸、その他多くの建物などの被害をもたらし、被害総額1,077億円超という、甚大なものとなりました。

消防団も津波で消防屯所が22カ所、消防団車輛が3台被災するなど、活動に大きな支障を及ぼしま

したが、地震発生直後は、団本部員18人が参集して団指揮本部を消防署内に設置し、災害状況の情報収集、各分団の活動状況の把握および連絡調整に当たりました。また、沿岸分団は市内155カ所の水門・ひ門の閉鎖、避難誘導、搜索、救助、火災出動および火災警戒を、山手分団は沿岸分団への応援と食糧の確保を行うなど、震災当日は延べ650人ほどの消防団員が活動を行いました。



震災直後の団本部室

ニューフェイス紹介



所属 第10分団第5部
氏名 熊谷 昌征
年齢 19歳
特技 釣り
趣味 釣り
好きな女性のタイプ
少女時代

休日の過ごし方 釣り
消防団に対する希望

最高の1番員になりたいです。そして纏隊に入って組頭になりたいです。

先輩からの一言

あなたが社会人になるのを待ちわびていました。釣りが出来ない時もありますが、消防団活動に参加願います。



所属 第11分団第5部
氏名 片山 真吾
年齢 26歳
特技 禁酒、禁煙
趣味
モンスターハンター
好きな女性のタイプ
家庭的な人

休日の過ごし方
ドライブ

消防団に対する希望

これからも、住民の期待に応えて欲しい。

先輩からの一言

心は一つ！！



所属 第12分団第1部
氏名 外川 勇史
年齢 23歳
特技 正座しても疲れ
ない、どこでも寝れる
趣味 走るのは好きです
好きな女性のタイプ
田舎者っぽい人

休日の過ごし方

車の運転が下手なので練習しています。

消防団に対する希望

まだ何もわかりませんが努力します。よろしくお願ひします。

先輩からの一言

震災後大変な時の入団となりましたが、これから一緒に頑張りましょう。

震災2日目以降は、消防署隊や自衛隊、警察と合同での搜索救助活動、ガレキ撤去および街路の確保、危険物などの撤去のほか、住民の安否確認、各避難所への物資搬送や、連絡調整など、被災者への支援活動などを行いました。団指揮本部は、大船渡市防災部（大船渡消防本部・消防署）を通して大船渡市災害対策本部と連携し、情報の共有化を図るとともに、毎夕方開催される災害対策本部での連絡調整会議に団長が参加し、警察、自衛隊等関係機関との継続した活動強化を図りました。発生後1週間までには、延べ4,900人前後の団員が大震災に対する活動に当たりました。

搜索活動をする消防団員



物資搬送をする消防団員



救助活動をする消防団員



平成23年叙勲・褒章受賞者紹介

おめでとうございます。

氏名	賞賜(功労)
船野 克之様 (元消防長)	瑞宝双光章 (消防功労)
故 崎山 盛雄様 (元消防長)	瑞宝双光章 (消防功労)
野 田 勇様 (元副団長)	瑞宝单光章 (消防功労)
田村藏右工門 様 (元部長)	藍綬褒章 (社会福祉功労)

平成23年 火災件数

(平成23年 1月1日～12月31日)

建物火災	9件
林野火災	1件
車両火災	0件
船舶火災	1件
その他火災	2件
合計	13件

大船渡市火災
抑止目標13件



このたびの東日本大震災により
お亡くなりになりました3人の
団員に対し心から御冥福をお祈
り申し上げます。

東日本大震災での 義援金、物資提供消防団

- ・新潟県新潟市消防団
- ・新潟県小千谷市消防団
- ・新潟県長岡市消防団
- ・東京都八王子市消防団
- ・神奈川県相模原市消防団
- ・愛媛県西条市消防団
- ・住田町消防団
- ・一関市消防団
- ・奥州市消防団
- ・盛岡市消防団
- ・平泉町消防団
- ・藤沢町消防団

相模原市消防団 義援金贈呈式



心温まる御支援ありがとうございました！

◎消防団員募集

消防団は、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という郷土愛護の精神で活動し、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。



消防団員募集

◎消防団員の待遇

消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。普段は仕事を持ちながら郷土愛護の精神によって活動しており、公務災害補償などが受けられます。また、年額報酬や出勤手当、退団時には退職報償金が支給されます。

連絡先

大船渡消防署 ☎27-21119
三陸分署 ☎44-21119
綾里分遣所 ☎42-21119

編集部より

「団だより」は年2回の発行を続けてきましたが、昨年は東日本大震災対応により、発行を見送らざるを得ませんでした。

また、今年の出初式は、纏振り、分列行進を実施しないという震災影響が残る形での開催となり、震災の犠牲者や、消防団活動中に殉職された団員への「鎮魂フラッグ」による黙祷を捧げながら、二度と同じことを繰り返さない、誓いを新たにしました。

千年に一度といわれる未曾有の災害に見舞われ、誰しもが深い悲しみと落胆に暮れる中、震災直後より自衛隊、消防隊を始め各種支援団体が結集し、長期に渡り、捜索、ガレキ撤去、そして復旧・復興に当たる姿に大いに励まされ、後押しされ、我々消防団が、現在まで来れたものと感謝の気持ちでいっぱいになります。

以前、「防災講演会」で自衛隊関係者の方が話していた有事に対する心構えとして、「治に居て乱を恐れず」「平和の世にいても、戦乱(災害)の時に備えて準備を怠らない。」という言葉が思い出され、その必要性を我々消防団も感じた一年になりました。

全国的に、消防団員減少傾向が心配される中、当市では「ニューフェース」で紹介されるおおい、新入団員を迎える事ができ、今後の活動に期待したいと思えます。

復旧・復興作業が続けられている中、寒い日が続いています。火の取り扱っ機会が多いこの時期、消防団では夜警を行っており、一年間無火災で過ごせるよう、努めていきたいと思えます。

「火の用心！」



編集部 (団本部)